

國學院大學學術情報リポジトリ

2018年度國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [南開大学外国語学院東アジア文化研究センター「東アジア文化研究」編集委員会] メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001603

2018年度

國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

1. 第5回国學院大學－南開大学院生フォーラム・

東アジア文化研究国際学術シンポジウムの開催

2018年7月14日(土)・15日(日)に國學院大學渋谷キャンパスで、第5回南開大学－國學院大學院生・若手研究者学術フォーラム・東アジア文化研究国際学術シンポジウムを開催した。

(1) 國學院大學大学院側の準備

國學院大學大学院文学研究科に設置されている国際学術交流委員会の、2017年度第2回委員会(2018年3月13日開催)において、第5回学術フォーラムは國學院大學で7月14・15日に開催すること、発表者の公募は平成30年5月7日を締切として文学研究科在学生ならびに特別研究生に行うこと、第4回フォーラム発表者以外とすることが了承された。

これに基づいて2018年4月25日の第1回文学研究科委員会に募集要項などを報告し、了承されて発表者の公募を行った。公募内容は、発表内容は①日中比較文化研究、②日本文化研究(文学、民俗学、歴史学、神道学、宗教学など)、③アジア文化研究とし、発表申込資格は、本学大学院文学研究科在学生ならびに文学研究科特別研究生で、原則として第4回院生フォーラム発表者以外、発表時間は1名30分、使用言語は日本語・中国語のいずれか、発表要旨の提出は指導教員の承認を得て6月1日までとした。

公募によって文学研究科在学生7名の応募があり、この7名の発表を認め、それぞれから発表要旨の提出があった。学術フォーラム開催に向けての準備は文学研究科文学専攻の小川直之教授と大学院事務課、鈴木道代助教が行い、発表予定者には発表題目・要旨の確認をし、発表要旨集の作成を開始した。また、これと並行して南開大学担当者(王新新教授・王凱副教授)との連絡・協議を進めるとともに、國學院大學側の基調講演(金子教授、井上教授)、若手研究者講演(曹咏梅兼任講師)の依頼、各セッション座長の依頼を行った。

(2) 実施組織

実施担当者	國學院大學大学院文学研究科委員長	金子修一教授
	國學院大學大学院文学研究科幹事	石本道明教授
	國學院大學大学院文学研究科	小川直之教授
		井上明芳教授
	國學院大學教育開発推進機構	鈴木道代助教
	南開大学外国語学院長	閻国棟教授
	南開大学外国語学院日本語文学科・東アジア文化研究センター	劉雨珍教授
		韓立紅教授
		王新新教授
		劉肖雲副教授
		于君講師
顧問	南開大学外国語学院客員教授・國學院大學名誉教授	辰巳正明
	天津師範大学教授 王曉平	
事務担当	國學院大學大学院事務課	
	協力：國學院大學国際交流推進部、国際交流課	
実施主管組織	國學院大學大学院文学研究科国際学術交流委員会	
	南開大学外国語学院東アジア文化研究センター	

(3) 日程と内容

7月14日(土)	若木タワー地下1階 第2会議室	
10時30分	開会式 挨拶 國學院大學大学院文学研究科委員長 金子修一教授	
	南開大学外国語学院日本語文学科主任 韓立紅教授	
10時40分	特別講演(講演40分)	
	ロシアにおける漢学研究 南開大学外国語学院院長・教授 閻国棟	
11時25分	基調講演1(講演30分)	
	皇帝と元号 國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 金子修一	
12時00分	基調講演2(講演30分)	
	大学教育改革に適應する SPOC の応用展望	
	南開大学外国語学院副教授 劉肖雲	

12時35分～13時25分 休憩・昼食

13時30分 祝辞 國學院大學学長 赤井益久教授
南開大学外国語学院長 閻国棟教授

13時45分 基調講演3（講演30分）
平成文学にみる文化的消費の表象
南開大学外国語学院教授 王新新

14時15分 基調講演4（講演30分）
情から物へ—新感覚派横光利一を中心に—
國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 井上明芳

休憩

15時00分 東アジア文化研究（若手研究者講演）（1講演30分）
『古事記』の中国語訳について
國學院大學文学部兼任講師 曹咏梅
『平家物語』における平重盛像 南開大学外国語学院講師 于君

16時～16時20分 討論 座長 南開大学外国語学院教授 劉雨珍

16時30分 院生フォーラム・第1セッション（1発表20分）
『詩經』鄘風「相鼠」篇小考 —その解釈と機能について—
國學院大學大学院文学研究科博士課程前期 河野貴彦
策彦周良と杜甫—『謙齋南遊集』を中心に—
南開大学外国語学院大学院博士課程後期 陳茜
秋吉久紀夫訳編『穆旦詩集』の翻訳に関する一考察
—「Chorus 二篇」を例として
南開大学外国語学院大学院博士課程前期 蔣静瑶

17時30分～17時50分 討論
座長 國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 石本道明

18時30分～ 歓迎レセプション・交流会 若木タワー18階 有栖川宮記念ホール

7月15日（日） 若木タワー0502教室

10時～ 院生フォーラム 第2セッション（1発表20分）
幸田露伴の「修養物」について
南開大学外国語学院大学院博士課程後期 商倩

芥川龍之介「雛」論—<雛>人形の行方—

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期 岩渕真未

太宰治「燈籠」論—<記録>される言葉と<記憶>による語り—

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期 齋藤樹里

井上ひさしにおける新たな太宰像—評伝劇『人間失格』を視座に

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 崔雪婷

『身毒丸』と『毛皮のマリー』から見る母子対立

—ジェンダーを視座に—

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 王 茜

戦前日本における明治憲法体制の支柱と皇国思想の強化

—明治憲法の内在保守性を中心に

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 劉皓倫

12時00分～12時30分 第2セッション 質疑・討論

座長 國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 井上明芳

12時30分～13時30分 昼食・休憩

13時30分～ 院生フォーラム 第3セッション (1発表20分)

「トタン」の通時的・共時的研究

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 王曉琳

「どころか」に先行する述語の肯否対立の中和

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 孫 暢

文修飾機能をもつ副詞的表現「X +にも」について

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期 呉 雨

医療業界における複合動詞の使用状況—医療アプリを中心に—

國學院大學大学院文学研究科特別研究生 郭翼飛

14時50分～15時20分 第3セッション 質疑・討論

座長 南開大学外国語学院副教授 劉肖雲

15時30分～ 院生フォーラム 第4セッション (1発表20分)

南九州の神楽における「岩戸開き」演目について

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期 大山晋吾

戦時下の流言—世間話としての要素について—

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期 富樫 晃

「人面桃花」の中日における伝承及び変遷

南開大学外国語学院大学院博士課程前期 張永維

16時30分～16時50分 第4セッション 質疑・討論

座長 國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 小川直之

17時00分～17時50分 総括・全体討論

総括 南開大学外国語学院教授 劉雨珍

南開大学外国語学院教授 韓立紅

南開大学外国語学院教授 王新新

國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 金子修一

座長 國學院大學文学部・大学院文学研究科教授 小川直之

17時50分～ 閉会式 國學院大學大学院文学研究科幹事 石本道明教授

2. 『東アジア文化研究』第4号の編集

第1号からの編集方針に従い、南開大学外国語学院で開催した第4回国學院大學－南開大学院生フォーラム・東アジア文化研究国際学術シンポジウムの発表者募集時に、発表者は『東アジア文化研究』第4号に投稿できる旨を告知した。これに基づいて、発表者から投稿された論文を査読し、南開大学担当者と連絡をとりあいながら編集を進めた。

編集は小川直之教授、鈴木道代助教、大学院事務課が担当者となり、主に鈴木助教が行った。なお、第4号には、投稿規程第2条に基づいて、國學院大學大学院文学研究科から南開大学外国語学院に1年間の協定留学を行った者の研究成果も投稿を認めた。

編集委員は本書末尾に記す通りである。なお、査読については編集委員ならびに研究分野に応じた適任者が行った。國學院大學大学院側の論文の中文要旨については、石垣絵美が担当し、南開大学の編集委員が確認を行った。